

議事録【意見交換会(ワークショップ形式)】							作成日	2024年11月14日		
							作成者	井上 聡美		
開催日時	2024年11月9日(土) 10:00 ~ 12:00									
開催場所	高浜公民館 2F会議室3・4									
参加者	委員					オブザーバー			町民	
	井上聡美	河島浩彦	小幡憲仁	井上順也	西野朋宏	阪本新也	大塚ひとみ	松岡茂和		
計8名	○	○	○	○	○	○	2名		6名	
目的	読まれる「議会だより」にするために・・・。 読者である町民の意見を聞き、参考にし、改善していく。議員だけでは限界がある。									
あいさつ	担当者	委員長 井上 聡美								
	少しずつ改善はしているが、町民の意見をお聞きし、今後の改善に反映させていきたい。 チカラを貸してほしい。									
議会だよりの説明	担当者	副委員長 河島 浩彦								
	説明内容	①「議会だより」のページ紹介 ②「議会だより」の目的 ③「議会だより」作成に係る予算、時間、人数 ④「議会だより」の現状と課題								
	質疑応答	委員	町民	結果だけしかわからないので、どんな議論をしたのか知りたい。						
		委員	委員	ページ数、文字数の問題があり、細かいところまでは書いていないが、主要なポイントは書いてある。ご理解を。						
	原子力視察	町民	町民	報告だけでなく、感じたことなどを盛り込んだ記事にした方が町民は興味を持つのでは。						
		委員	委員	議員14名全体の報告であり、各個人の意見を述べるものではないが、都度レポートは提出している。QRコードで各個人のレポートを見れるように検討していく。						
	Webアンケート	町民	町民	若い世代が見ていないことがわかる。 どうしたらその人たちに町政が浸透していくかが今後の問題。 14名での回答では信用度がない。 もっと増やしていった実質的な捉え方をした方がよいのでは。 お金がもったない。						
		委員	委員	「議会だより」に関心がないことがわかった。 14名であるが、貴重なコメントをいただけてありがたい。 ホームページ「議会だより」のアクセス数は、年1000件程度。 今後、増やせるように検討していく。						
	その他	町民	町民	Web・QRコードもいいが、紙媒体弱者のことも考えてほしい。						
		委員	委員	紙媒体は、なくさない方向である。 全戸配布しても読まれる「議会だより」にしていかないといけない。						
町民		町民	議員だけのものではなく、町民がどんなことを考えているかなど、町民の声も載せたらどうか。そうすると読む人も増えるのでは。 視聴覚障害者の方にもわかる対策を。							
委員		委員	「議会だより」を町民参加にしていくために、まずは表紙の公募を始めた。町民の声も載せていきたいが、ページ数の問題がある。現在は、16ページか20ページ。それ以上になると読まれないと思う。検討していく。							

ワー ク シ ョ ッ プ	3グループに分かれて意見交換し、グループ発表		
	質疑討論	・自由討議の詳細。	
	委員会報告	全体	・詳細はQRコードで。
		予算決算	・予算、決算シートの情報公開。 ・新規事業（箱物）の方向性。
		視察	・議員の意見、考え方が知りたい！議員の受け止めを知りたい。 ・視察手記という方法で記事を書くと読みたくなる。 ・編集者が各議員のレポート読んで、まとめたものを載せる。 ・感想など聞きたい！
	一般質問	・聞きたいことは何か。細かいことは再度聞きに行くこと。 ・議員は「こう考えている」を書く。 ・どっちの方向へいこうとしているのか。 ・質問をした経緯。 ・再質問をすること。 ・町民の意見から一般質問（Q）をし、広報で回答（A）をするのがよい。	
	その他	議会の動き	・取り組んでいる姿を見せること。
		アンケート	・どれだけ「議会だより」が読まれているか、把握の方法、範囲を広げる。 ・分母（回答数）が少ないので信用性がない。
	全体	・委員長が変わって見やすくなった。 ・グラフ化、図表など見やすくする。 ・議会の方向性が見えないので、方向性がわかる記事を！！ ・町の方向性。	
	その他の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県寄居町議会広報紙を参考にすべき。（議会だよりコンクール最優秀賞） ・一般質問のあの質問、回答はどうなった。（行政の検討する、に対して） ・町民のQをAにする。議会でも対応。 ・考えを載せたい人はのせたらよい。考えを載せた趣旨。私はこう考える。 ・議員の感想も載せる。 ・町民の声を載せる。 ・町民の声、意見を募集して、記事として載せる。 ・議会から出かけていき、インタビュー記事を載せる。 ・町民に対するインタビュー記事。 ・町民の顔が見えるように！ ・議会と町民との接点…必要。町民とのコミュニケーション ・議員が町民回りををしていない。 ・広報委員は新聞記者のつもりで対応を。 ・世代のニーズを扱うべき。 ・世代ごとの意見交換会の実施。 ・町民が何を知りたいか？を考える。 ・町民に興味を持ってもらうようにする。 ・町政への興味を持っていくべきでは？ ・広報の充実。 ・Facebookで各議員のコラム ・YouTubeは、なぜできないのか不思議。 ・YouTube。議会を見やすくする。（高齢者も見ている） 	

- ・ Webで流してもらえないか！
- ・ SNSの投稿が少ない！
- ・ 説明動画を作ってはどうか。

写真

